



議会だより

# にき

第91号

2011.11.10

発行／北海道仁木町議会  
編集／議会広報編集特別委員会



仁木商活用方法 委員会を設置し検討へ 2

町政のそこが聞きたい！一般質問 5

H22決算・みんなの税金 こう使われました 8

徹底審査 決算特別委員会質疑 10



第3回定例会は、9月21日から22日の2日間の会期で開催し、会期を1日残り、21日に閉会しました。

町からは、健全化判断比率の報告、平成22年度決算認定、平成23年度補正予算、人事案件が上程され、決算認定を除くすべての議案を可決しました。（決算認定は特別委員会を設置し付託）

また、議会提出議案として、人事案件、意見書を提出し、すべて可決しました。

一般質問では、2名の議員が女性特有のがん検診対策、公契約条例の制定や防災対策について、考えを問い質しました。

仁木商  
閉校後の活用方法

# 委員会を設置し検討へ

## 補正予算

### 災害時要援護者を訪問調査

一般会計予算は、収入で地方交付税の増、支出では、今年度で閉校する仁木商や閉校した大江小の活用方法を検討する委員会にかかる経費、災害時要援護者の調査等をする地域支え合い体制づ

くり事業の実施、基金の積み立てなどによる増額

補正が提案され、審議・採決の結果、全員賛成で可決しました。

また、国保特別会計予算は、後志広域連合負担金の過年度精算を予備費から財源充当する補正が提案され、審議・採決の結果、全員賛成で可決しました。

## ??質疑あれこれ!!

**上村** 公有財産利活用計画検討委員会の構成メンバーはどうなっているのか。

**総務課長** 学識経験者や関係団体の代表者、公募による者、その他町長が必要と認める者とし、総体で10人以内と考えている。

## 平成23年度会計 補正の結果

### 補正額

### 予算総額

- ・一般会計（5回目の補正）

8503万5000円増

34億5127万円

- ・国民健康保険事業特別会計（3回目の補正）

増減なし

2億180万9000円

**上村** 公募による委員が入っていることは、とても良い。何人程度、公募する考えなのか。  
**総務課長** 2名程度を考えている。

健全化判断比率

今年も〇

22年度決算に基づく健全化判断比率は、すべて基準を下回りました。

また、簡易水道事業特別会計の資金不足比率は黒字のため算定されませんでした。

町長の行政報告

●大雨災害対策

9月2日から降り続いた雨は、6日までに250mmを超え、床下浸水、農地冠水などの被害が発生したため、建設協会の協力をいただき、河川の土のう積みや河床掘り下げ等の対策を行った。

●閉校後の利活用

北海道教育庁から閉校後の仁木商について、無償譲渡の打診があった。今後は、職員によるプロジェクトチームの編成、更には、専門業者や有識者を交えた検討委員会を設置し、3月に閉校した大江小の利活用も含めて検討していく。

●泊原子力発電所

関係町村の不安解消や今後の安全対策を北海道としてどう取り組んでいくのか、北海道としての考え方を受けて、後志町村会及び関係機関と連携を図りながら対応していく。



◆実質赤字比率（早期健全化基準 15.0）

19年度	20年度	21年度	22年度
-	-	-	-

※本町は黒字なので算定されない。

◆連結実質赤字比率（早期健全化基準 20.0）

19年度	20年度	21年度	22年度
-	-	-	-

※本町は黒字なので算定されない。

◆実質公債費比率（早期健全化基準 25.0）

19年度	20年度	21年度	22年度
19.1	19.5	18.3	17.2

◆将来負担比率（早期健全化基準 350.0）

19年度	20年度	21年度	22年度
161.1	153.8	99.2	64.0

??用語解説!!

◆実質赤字比率

一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻化を示すもの

◆連結赤字比率

一般会計と特別会計を合算し、赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻化を示すもの

◆実質公債費比率

借入金の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの

◆将来負担比率

一般会計の借入金や将来支払っていく可能性がある負担等、現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの

特別委員会に付託  
閉会中に審査

平成22年度の決算認定は、特別委員会を設置し審査することに決定しました。

◆各会計決算特別委員会  
委員長 林 正一  
副委員長 嶋田 茂

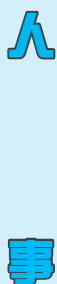
人権擁護委員候補者

加藤美佐子さんを **適任** と答申

教育委員に高木さん、農業委員に大野議員



加藤美佐子さん  
(大江)



◆人権擁護委員候補者

辞任に伴う人権擁護委員候補者に、加藤さんを推薦することに「適任である」と答申しました。



◆教育委員

任期満了に伴う教育委員に、高木さんを再任することに同意しました。

高木 僚一さん  
(西町)

◆農業委員

辞任に伴う議会推薦の農業委員に、大野議員を推薦しました。

大野 雅義議員



# 道に脱原発社会の実現を要望

## 意見書

### ◆北海道地域防災計画

(原子力防災編)の早期見直しと北海道電力泊発電所の段階的運転停止・計画的廃炉・第3号機プ

ルサーマル発電計画の撤回を求める意見書  
提出議員 大野 雅義  
賛成議員 上村智恵子

地域防災計画(原子力

防災編)を早期に見直し

また、泊発電所10km圏内

の4町村だけでなく、後

志全市町村を計画に盛り

込むことや泊発電所の第

1・2号機の再稼働は慎

重に対応するとともに、

3号機を含むすべての原

子炉の将来的廃炉に向け

た段階的運転停止を国や

北海道電力に要請するこ

となどを要望するもので

審議・採決の結果、全員

賛成で可決し、北海道に

提出しました。

### ◆森林・林業・木材産業

施策の積極的な展開に関

する意見書

提出議員 横関 一雄  
賛成議員 住吉 英子

東日本大震災の速やか

な復興に向け、被災した

森林・木材加工施設等の

早期復旧に加え、復興木

材の供給に向けた被災地

域及び全国における森林・林業再生の加速化や森林整備推進等のための安定的な財源措置の確保による森林経営対策を推進するよう要望するもので審議・採決の結果、全員賛成で可決し、関係機関に提出しました。

# 町政のそとが聞きたい

## 一般質問





住吉 英子 議員

クーポン利用のがん検診って…

# なぜ集団検診のみ？

町長 10月から個別受診を開始する

## 售

子宮頸がん、乳がんは、ウイルス感染や女性ホルモンが関係しているため、他の

がんと違い、30〜40代の若い世代に多いがんであり、年間1万人以上の女性がこの2つのがんで命を落としている。

現在、子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券を発行しているが、このクーポンを利用した検診の受診率及びクーポン利用以外の検診受診率はどのくらいあるのか。

## 町長

クーポンを利用した検診の受診率及びクーポン利用以外

◆子宮頸がん検診		対象者	受診者	受診率
21年度	クーポン発行	73名	10名	13.7%
	クーポン外	965名	97名	10.1%
22年度	クーポン発行	93名	25名	26.9%
	クーポン外	989名	109名	11.0%

◆乳がん検診		対象者	受診者	受診率
21年度	クーポン発行	104名	20名	19.2%
	クーポン外	778名	88名	11.3%
22年度	クーポン発行	163名	34名	20.9%
	クーポン外	766名	86名	11.2%

※表. 子宮頸がん・乳がん検診の受診率

**售** ①目標受診率は設定しているのか。

②クーポン券対象者で、未受診者の理由の把握は

の検診受診率は、表※のとおりである。

今後においても、女性特有のがん検診のみならず、すべてのがん検診の受診促進を図り、健康増進に努めていく。

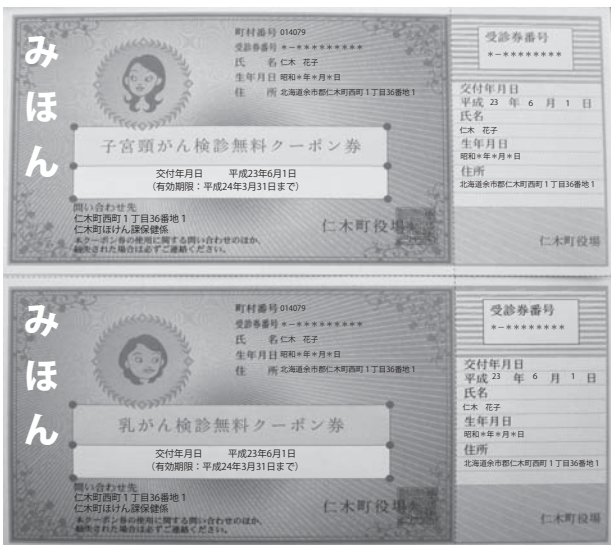
## ほん課長

①目標受診率は設定している

ないが、1名でも多くの

しているのか。

③本町の受診率は、決して高い数字とは思えず、その要因として、医療機関（検診センター等）や受診日の限定と考える。受診しやすい環境づくりが大切かと思うが、町の考えは。



対象者に配布されたがん検診無料クーポン

**售** 方々に受診してもらえらうに考えている。②クーポン券対象者で未受診の方の理由は、今のところ把握していない。③10月から、小樽市等の医療機関でも受診可能にし、また、受診日を定めず、自由に受診できるような体制にする。

**町長** 受診しやすい環境づくりを行政として進めていかなければならないと考える。現在、従来の集団検診に加え、個別検診を実施する方向で、軌道修正をしているところである。



上村 智恵子 議員

労働者を守るため…

# 公契約条例の制定を

町長 今すぐに制定する考えはない

## 上村

①本町の公共工事の発注を見ると、低価格受注競争にな

っているように感じる。財政には優しいが、労働者のことを考えると心配になる。税金を原資とする公共事業は、できる限り安く、無駄なく行われることは当然だが、競争原理に任せて良いはずはないと考えるが、本町の入札制度はどうなっているのか。

②公契約に、人間らしく働くことのできる労働条件を確保する法律・条例の制定を求める運動が広がっているが、この条例に対し、町はどう考えているのか。

③国が主導的な役割を果たして、現実問題として大変であると考えられる。また、今すぐに公契約条例の制定をするという考えはない。

## 町長

①予定価格が130万円を超える場合、指名競争入札を行い、最低価格で落札をした業者と契約締結している。発注する際、品質及び安全性並びに適正な履行が確保されるよう仕様書等を作成し、労働基準法及び労働安全衛生法を遵守するよう請負業者に指導している。

②労働者の労働条件及び待遇は、法によりその確保が図られていると考えているが、労働者の適正な賃金を確保するのは当然のことであり、国や道他市町村の今後の動向を注視していく。

③契約締結に際し、その地域の労働条件を調査して、基準を上回ることを契約の中に明記しなければならぬが、政府は未だ手続きを進めないの地方から声を上げることが大事だと考える。公契約条例を研究してほしいが、町の考えは。

## 上村

①請負業者には遵守項目の入った文書を通知しているのか。

②公共事業を発注した場合、業者より<sup>\*</sup>建退協加入の証明書を添付してもらっているのか。

③契約締結に際し、その地域の労働条件を調査して、基準を上回ることを契約の中に明記しなければならぬが、政府は未だ手続きを進めないの地方から声を上げることが大事だと考える。公契約条例を研究してほしいが、町の考えは。

## 公契約条例ってなあに？

公共事業を受注した業者に対して、一定の水準以上の賃金の支払いを義務づけた条例のことです。

一定賃金以上を確保することにより労働環境及び業務の質の向上を図ります。



## 建設課長

①口頭で指導している。

②建退協加入を証明する書類を添付してもらっている。

## 町長

③国が主導的な役割を果たして

くれなければ、現実問題として大変であると考えられる。また、今すぐに公契約条例の制定をするという考えはない。



来春完成予定のぎんれい36（銀山地区）

※1 建設業退職金共済制度の略語。建設業で働いた方の退職金が保障される制度。



有事に備えた体制強化を！

# どうなった？ 要援護者対策

## 町長 10月から名簿や個別支援計画を作成する

### 上村

本町は、今のところ人命を脅かす災害はないが、安心して暮らせるまちづくりのため、地域と自治体で共に考えてなければならぬと考える。

①3年前に質問した災害時要援護者対策計画は、その後どうなったのか。

### 町長

①災害時に現場で支援する地域力Ⅱ共助が必要不可欠であることから、町内会ごとに自主防災組織を立ち上げ、支援者を募るため広報誌での呼びかけや町内会長会議で説明をしているが、組織化までには至っていないので引き続き呼びかけを行う。

②学校や保育所では、どのように避難訓練を実施しているのか。

③札幌市では津波や原子力災害を想定した防災計画に見直す方針を決めたが、本町はその考えがあるのか。

### 上村

フルーツパークを避難施設に指定しないのか。

### 企画課長

今年度予定している防災会議で、避難所にするよう準備を進めている。

### 上村

職員が少ない中で、被災地にボランティア派遣することは大変だと思うが、何か研修としてボランティア活動をしてほしいと考えるが、町の考えは。

### 町長

良い経験になるのでボランティア派遣しようという考えでいたが、事務方は必要ないということであった。今後、要請があれば積極的に派遣したいと考えている。



お二人が訪問調査しますので、ぜひご協力を！



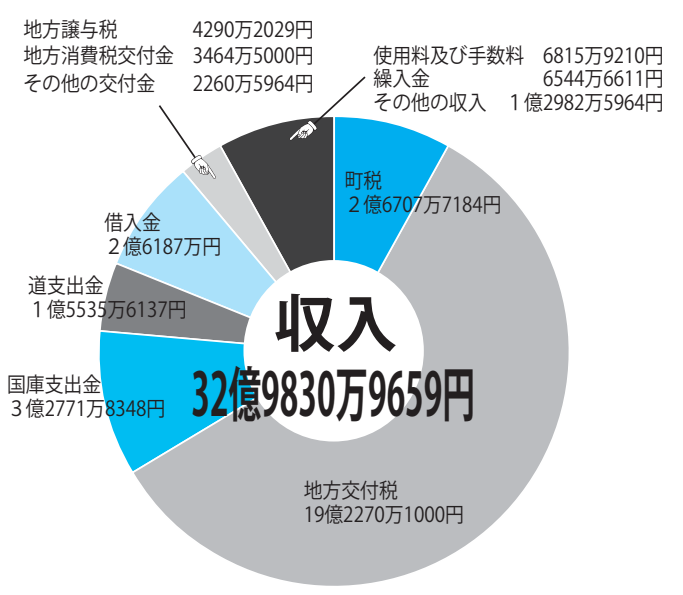
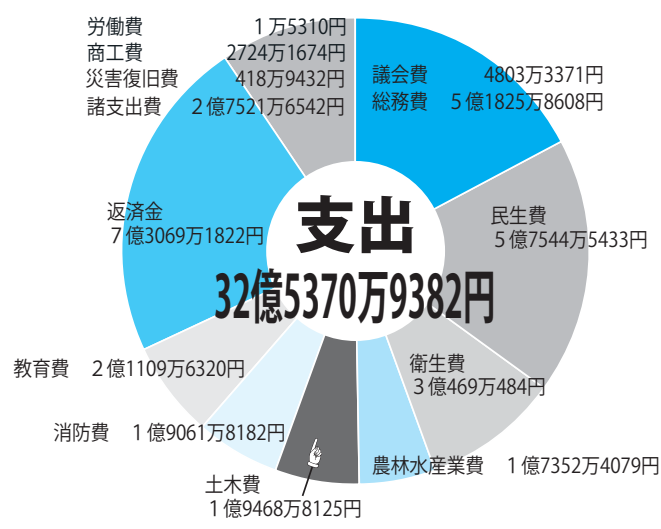
手前の広場は避難場所なのに…建物も避難所の指定を！（フルーツパークにき）



果が見えてきた

こう使われました

## 一般会計決算額



## 決算の概要

**平** 成22年度の決算を審議するため、特別委員会を設置し、4日間にわたり慎重に審査した結果、すべての会計を認定すべきものとして決定しました。

**一** 一般会計は、歳入32億9830万円で、前年度比3・2%の増。歳出32億5370万円で前年度比3%の増となり、差引額は4460万円となりました。

**収** 入の58%を占める地方交付税は、前年度比約1億8000万円増の19億2270万円と6年連続での増額措置がとられた一方、各種交付金を含めた国庫支出金が約1億7000万円減の3億2771万円と大きく減少しています。

**町** 税収入は、2億6707万円で、前年度比716万円の減となりました。徴収率は若干の改善傾向にあるものの、今なお664万円の収入未済があります。

**支** 出では各種交付金を活用して、町職員住宅や町道北町公園前線・仁木中央線の建設事業を行ったほか、銀山中央団地の基本実施設計更には、町の単独事業として、野菜ハウス導入事業などが計画どおり実施されました。

**積** 立金は全体で9億2320万円、前年度比2億1216万円増となりました。また、約6300万円を取り崩し、借金(起債)の繰上償還をしました。



平成22年度  
決算認定

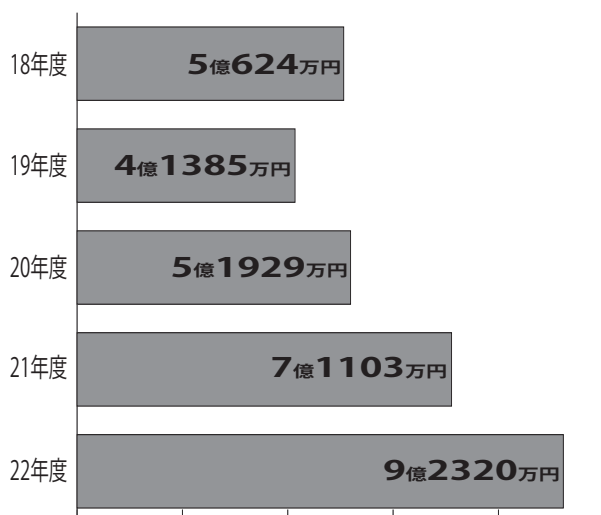
# 行革プランの効

# みんなの税金

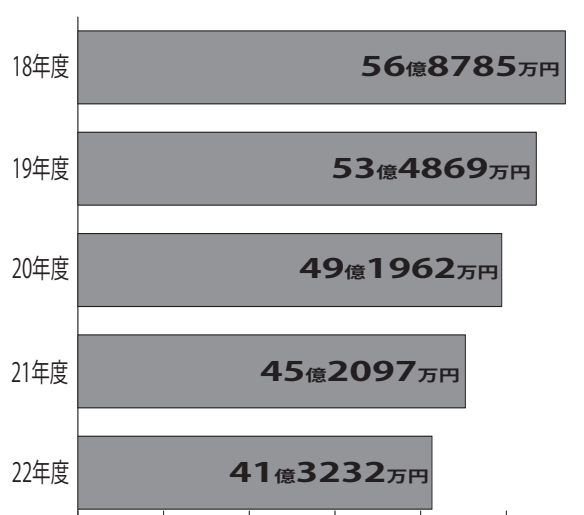
会計名	収入	支出	差引	採決の結果
一般会計	32億9830万円	32億5370万円	4460万円	全員賛成で認定すべきものとして決定
国民健康保険事業特別会計	2億548万円	2億225万円	323万円	全員賛成で認定すべきものとして決定
簡易水道事業特別会計	4億7747万円	4億7608万円	139万円	全員賛成で認定すべきものとして決定
老人保健特別会計	166万円	166万円	0円	全員賛成で認定すべきものとして決定
後期高齢者医療特別会計	5676万円	5617万円	59万円	全員賛成で認定すべきものとして決定

※平成22年度決算は、委員会の審査結果を12月定例会で報告・審議し、本会議で決定されます。

■基金（貯金）残高の推移〈一般会計〉



■借入金残高の推移〈一般会計〉



# 徹底審査

## 決算委員会質疑

ここでは、各会計決算特別委員会で審査した内容を要約してお知らせします。



**観光DVD作成**  
**住吉** 観光案内用のDVDをどのように活用しているのか。

### どのような活用法？

**商工観光係長** 日本語版の他に中国語版を作成し、定住自立圏での説明会やイベント、旅行会社への資料として、パンフレットとともに配布している。



**野菜ハウス補助**

### 導入効果の検証を

**上村** 野菜ハウス導入事業は、かなりの需要があったと思うが検証等はないのか。

**農政課主幹** 農協が主体となって実施した野菜ハウス導入事業は昨年44名の方が導入した。導入効果等は、現在、農協と検証中である。



**银山線バス運行**

### 交通弱者ゼロ体制を

**上村** 银山方面へのバス乗車率は低いが交通手段の確保は不可欠である。町民が使いやすい運行方法等を検討する考えは。

**企画課長** 第5期総合計画の中で交通手段等の確保の推進を掲げているので、生活運行バス等の検討をする。

**公用車運転の委託契約**

### 指摘事項の検討を

**横関** 契約で、管理時間を超えた部分は、時間外、もしくは代替で処理することになっているが、経費削減を考えると代替で処理した方が余分な時間外を支出しなくて済むのでは。

**総務課長** 調整できるところはしているが、監査委員からの指摘もあったので、検討していく。

**大野** 監査委員の決算審査報告書の中で、公用車運行管理委託の契約内容を指摘しているが、具体的な内容の説明を。

**中西監査委員** 毎月の支出証拠書が追加分と合わせて2枚になっていた。一般的な委託は、業務全体を含んで一括で行う方が効率的・経済的であると指摘した。



## フルーツパークのコテージ 改修工事の理由は



**嶋田** コテージの年間の稼働率と改修した理由は。

**企画課長** 稼働率は約20%で、建設から10年間未改修で傷みが激しく、また、交付金を活用できることから改修した。



## 中学校の英語授業 ALT配置の成果は

**住吉** 外国語指導助手（ALT）を配置した成果は。

**教育次長** 英語暗唱大会に参加した生徒全員が優秀賞を受賞。また、イングリッシュユチャレンジというビデオコンテストでは、仁木中の生徒3名が全道でトップ10に入るなどの成果があった。

## 排水ポンプ設置で

## 被害拡大の防止を

**横関** 北町4丁目にある排水ポンプは、国道5号からの雨水が集中的に集まるということと設置しているが、北町10丁目も同じような条件であるにも関わらず、設置していない。被害拡大を防ぐためにも設置するべきと考える。

### 副町長

現状を調査し、検討する。

## 水道料未納者へ

## 徴収体制の強化を

**横関** 水道料の未納件数は町内24件、町外10件であるが、時効はあるのか。また、現在の徴収体制を変えずに未納者から徴収することは可能なのか。

**建設課長** 水道料は不納欠損していない。未納者へは粘り強く臨戸徴収し、多額な未納者には給水を停止するなど、説明しながら対応する。

## 尾根内浄水場の水質検査

## 検査結果の周知を



**上村** 尾根内浄水場は地下水を汲むが、水質検査は毎月実施するのが。

**建設課主幹** 今年度は農薬の検査を中心に3回実施している。供用開始後は、毎月検査する。

**上村** 水質検査の結果を住民に周知しないのか。

**建設課長** 前向きに検討する。

# 代々受け継ぐ「優しさ」

井内徳幸さんご家族（南町）

南町在住の井内徳幸さんはなんと四世代家族！  
上は92歳のおじいさんから下は4歳のお孫さん（表紙のお子さん）の8人家族です。

◎昔から農業を営んでいるんですか？

「私で三代目になります。元は私の母の親が営んでいました。現在、ぶどう・さくらんぼ・トマトを作っています」

◎家族みなさん仲が良い印象を受けたいんですが、奥様、何か秘訣はあるんですか？

「優しさの受け継ぎです。お姑さんが優しくしてくれたから、私もその優しさを見習って、受け継いで行こうと思っただんです」

◎町や議会に対して、望むことはありますか？

「果実の町だけど、果実だけでは正直厳しい。人件費が大半を占め、収入が少なくなってしまう。昨年実施した野菜ハウス事業は、本当にありがたかった。補助があれば野菜づくりもチャレンジできるしなおかつ町全体の収入も上がると思う。今後もぜひ野菜ハウス事業を続けてほしい」

◎優しさの受け継ぎ、本当に素敵です。皆さん、いつまでもお元気で！

（取材・インタビュー 嶋田 茂）



銀山コミュニティー推進協議会

鈴木 保 さん  
阿部 利幸 さん



町民スポーツ・ハイキング大会で、毎回、豚汁をボランティアで作っているのが、銀山コミュニティー推進協議会の皆さんです。

昔は、豚汁ではなく、温かい牛乳を提供したのが始まりだそうです。それから20年以上、ハイキング大会の参加者に温かい豚汁を振る舞っています。

## 美味しかったよ！

そのひとことが嬉しくて…

『子どもたちが「豚汁、美味しかったよ！」って言うってくれるんです。そのひとことが嬉しくて、励みになるんですよ』と語る鈴木さん。

今はガスで作るため、2時間くらいで完成しますが、昔は薪で作っていたそうで、時間もかなり大変苦労されたそうです。

食事も終わり、参加者が鈴木さんと阿部さんに感謝の気持ちを伝え帰って行く中、ひとりの参加者が車の窓を開け：

『豚汁、本当に美味しかった！』

来年もまた来るからね！』笑顔で手を振るお二人：言葉はなけれど、心の中で「また来年ね」と約束しているように感じました。

（取材 住吉英子・上村智恵子）

## 編集 後記

果実とやすらぎの里の我が町に実りの秋がやってきました。

今年は、春先の天候不順により、作物の成長を心配していましたが、その後の天候回復により、平年並みの出来秋を迎え、収穫していることと思います。

さて、今号から表紙と裏表紙は町民ページとして、2つのテーマの記事を掲載しています。1つ目は『絆』をテーマとする家族のつながりを、2つ目は『まちの人』と題し、町内で活動する団体等取材していきます。

町民中心の議会広報となるよう取り組んでいきますので、皆さんの声をもっともつと聞かせてください。

〈嶋田 茂〉

## 次の議会は 12月定例会

(12月下旬を予定)

ぜひ傍聴に来てください

◆編集・発行責任者

議長 水田 正

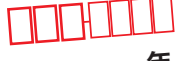
◆議会広報編集特別委員会

委員長 住吉 英子

副委員長 嶋田 茂

委員 大野 雅義

委員 上村智恵子



### 年賀状等の あいさつ状の禁止

議員は、選挙区内の方に答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等の挨拶状を出すことは禁止されていますのでご理解をお願いします。